

## 2 目標達成計画

事業所名： グループホーム 都南太陽荘

作成日： 令和7年10月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ミーティングで理念等を唱和し、意識の共有と自らの仕事の振り返りを行っていますが、グループホームの理念に掲げる6つのキーワード、『和・輪・笑・私・話・技』をもとに、職員と利用者が日々一緒に取り組むことが出来る生活目標を具体的に定め、一人ひとりのケアプランにも反映させながら、理念の実践に取り組むことが期待されます。	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を共有して、実践に繋げている。	『和・輪・笑・私・話・技』を、朝のミーティングや各ユニットのカンファレンスにて唱和し、また反映されたケアプラン作りに全員で取り組みたいと思います。	達成している
2	6	身体拘束の適正化に向けたグループホームの基本的姿勢や対応の考え方を、「重要事項説明書」に記載し、利用開始時に利用者、家族に明確に示すと共に、機会ある毎に家族に説明し、理解と協力を得ていくことが望まれる。	身体拘束をしないケアの実践 代表者及びすべての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束については、利用者にゼロケアを実践しているなど添付資料をつけ説明しておりますが、今後「重要事項説明書」に記載し、利用者やご家族に説明し、ご理解を得て行けるようにいたします。	2 か月
3	35	避難場所に指定されている公民館への誘導、避難訓練の機会を設けることを期待します。また、災害等有事の際には、近隣の協力が必要なため、連携出来るよう運営推進会議で話し合うことが望まれる。	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけると共に、地域との協力体制を築いている。	地域の方に緊急連絡網に入っていたことが出来ました。また、公民館を避難場所とし、運営推進会議に参加していただきました。	達成している